

ネパールのティハールというお祭り

バルトラ プラベス
BARTAULA PRABESH

ティハールというお祭りはネパールのとても有名なお祭りです。ダサインはネパールが一番大きいお祭りですが、ティハールは二番目に大きいお祭りです。ティハールは5日間の行事があります。

最初の日にはいろいろな料理を作ってカラスに食べさせます。カラスは人が死んだとき、その人を天国へ連れて行ってくれる大事な使いです。

二日目には犬の首に花かざりをかけて、いろいろな料理を食べさせます。犬にティカという物もつけます。

三日目にラクシミという神様のプザをします。プザはいろいろな色を使って神様の写真にその色をつけてお祈りをする事です。その神様はお金の神様ですから、たくさんお金が欲しい人は、その神様にプザをします。その日に皆さんの家の玄関の前にランゴリというものを作ります。ランゴリはいろいろな色の砂のようなもので、花などのデザインを描きます。

四日目に牛のプザをします。牛はヒンズー教の人たちにとって、とても大切な動物です。どうしてかというと、昔神様は牛になっていろいろな良いことを人間のためにしたからです。その日は牛にプザをします。

ティハールの5番目の日は一番大切な日です。その日に妹とお姉さんは、自分の兄と弟の長生きのために、エムラジという神様にお祈りをしてティカをします。お姉さんと妹は兄と弟に美味しいお菓子を作ってもてなし、プレゼントをあげます。兄と弟は妹とお姉さんにお金をあげます。

私はティハールが大好きです。ティハールの時は、花火をしたり、いろいろな料理を食べたり、ゲームをしたりして遊びます。ダサインの時は動物を殺して、ごちそうを作りますが、ティハールの時は、動物を殺すことはありません。むしろ動物を大切に扱いますから、私はティハールのほうがとても良いお祭りだと思います。ティハールの時だけ歌う歌もあります。皆さんが集まって他の人の家の前に行って歌います。そしてその家の人からお金をもらいます。

私は来年のティハールの時は、ぜひネパールへ帰りたいです。けれどもコロナの問題で、帰れないかもしれません。それはとても悲しいです。